# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日


上場会社名　　ユニチカ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3103　　ＵＲＬ　https://www.unitika.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）藤井　実
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）小林　淳　　ＴＥＬ　06-6281-5721

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 48,905 | △21.3 | 7,887 | 39.7 | 7,622 | 57.9 | 7,457 | － |
| 2026年３月期中間期 | 62,147 | 1.0 | 5,644 | 152.7 | 4,828 | 319.5 | △3,487 | － |

（注）包括利益　2027年３月期中間期　7,900百万円（－%）　2026年３月期中間期　△4,114百万円（－%）

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 129.34 | 14.35 |
| 2026年３月期中間期 | △60.49 | － |

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 143,096 | 61,682 | 42.9 |
| 2026年３月期 | 150,704 | 54,044 | 35.7 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　61,399百万円　2026年３月期　53,784百万円

２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | － | 0.00 | － | 0.00 | 0.00 |
| 2027年３月期 | － | 0.00 | | | |
| 2027年３月期（予想） | | | － | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
（注）上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 94,000 | △20.7 | 13,000 | 23.2 | 12,000 | 15.5 | 11,000 | △39.4 | 184.42 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　ー社　（社名）、除外　1社　（社名）　尤尼吉可（北京）貿易有限公司

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 57,752,343株 | 2026年３月期 | 57,752,343株 |
| ② 期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 98,761株 | 2026年３月期 | 98,495株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 57,653,712株 | 2026年３月期中間期 | 57,654,454株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第２四半期（中間期）決算短信（添付資料）４ページ「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明内容の入手方法について）

当社は、2026年11月27日（金）に証券アナリスト及び機関投資家向け説明会を電話会議にて開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明資料については、当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| C種種類株式 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | ― | 0.00 | ― | 2.27 | 2.27 |
| 2027年３月期 | ― | 0.00 | | | |
| 2027年３月期（予想） | | | ― | 3.18 | 3.18 |

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 11
３．補足資料 …… 12

## １．当中間決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内経済は、AI関連需要や企業の設備投資需要の拡大を背景として、製造業を中心に生産活動が堅調に推移しました。また、価格転嫁が進展したことや雇用・所得環境の改善を背景とした底堅い個人消費などにより、国内経済は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢緊迫化の長期化に伴う原材料価格・エネルギー価格の高止まりや、人件費及び金利の上昇などが企業収益の圧迫要因となり、事業環境は依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、事業再生計画に基づき、成長市場に向けた高付加価値・高機能製品の拡販、価格改定、経費削減を始めとするコストダウンの推進など、収益力の強化に取り組みました。また、中東情勢の緊迫化を受けた対応としての価格改定等の収益影響抑制策に加え、将来的な原材料調達の不確実性に備えた調達先拡大も推進しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は昨年実施した事業撤退の影響による売上の減少により前年同期比21.3％減収の48,905百万円となりました。営業利益は、高付加価値・高機能製品の拡販、不採算販売の見直しや価格改定・コストダウン施策の効果により、前年同期比39.7％増益の7,887百万円となりました。営業利益の増加に加え、受取配当金の増加や、構造改革による有利子負債の圧縮に伴う支払利息の減少などにより、経常利益は前年同期比57.9％増益の7,622百万円となりました。また、事業構造改善費用が大幅に減少したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益は7,457百万円（前年同期は3,487百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、当中間連結会計期間から報告セグメントの区分を変更しており、セグメントごとの前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。詳細は、「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載しています。

【高分子事業セグメント】

高分子事業セグメントでは、中東情勢の影響による原材料価格の高止まりが継続したものの、価格改定により収益への影響を抑制しました。需要面では自動車関連・電子材料用途を中心に底堅さを維持しました。加えて、高付加価値・高機能製品の拡販やコストダウン施策の効果により、収益力は向上しました。

フィルム事業では、包装分野の販売は堅調に推移しました。ハイバリアナイロンフィルム「エンブレムＨＧ」についても好調な販売が継続しました。工業分野は、AIサーバー向けを始めとする電子材料分野の旺盛な需要を背景に、シリコーンフリー離型フィルム「ユニピール」を中心に販売が拡大しました。海外では、包装分野において高機能製品を中心に販売が伸長しました。この結果、事業全体で増収増益となりました。

樹脂事業では、エンジニアリングプラスチックは、自動車部品用途及び電気・電子部品用途が引き続き底堅さを維持したことに加え、価格改定、コストダウン等を進めた結果、収益が堅調に推移しました。機能樹脂は、ポリエステル関連のコストアップの影響を受けましたが、コーティング用途の需要が堅調に推移しました。関連会社においても、自動車部品用途及び産業資材用途が安定した需要を維持し、事業全体では増収増益となりました。

以上の結果、高分子事業セグメントは増収増益となり、売上高は35,569百万円（前年同期比25.4％増）、営業利益は6,105百万円（前年同期比22.2％増）となりました。

【機能資材事業セグメント】

機能資材事業セグメントでは、幅広い分野・用途で販売が好調に推移しましたが、不織布事業及び産業繊維事業（モノフィラメント事業を除く）の撤退が前期の第３四半期に完了したことにより、前年同期比では減収となりました。一方、これまで継続してきた高付加価値・高機能製品の拡販、価格改定及びコストダウン施策の効果により、収益力が大幅に向上しました。

ガラス繊維事業では、産業資材分野は建築資材用途のテント・シート類を中心に堅調に推移しました。電子材料分野は、AI関連中心の半導体市場拡大を背景に、超極薄低熱膨張ガラスクロス及び超極薄Ｅガラスクロスは、ハイエンド携帯端末向けモバイルメモリ用途に加え、アプリケーションプロセッサ用途も好調に推移しました。また、価格改定により原材料価格高騰の収益影響を抑制したことの効果もあり、収益が大幅に伸長しました。この結果、事業全体で増収増益となりました。

活性炭繊維事業では、主力である浄水器用途の販売は、家庭用を中心に販売が伸長しました。また、めっき液フィルター用途は、電子関連の需要増加に伴い販売が堅調に推移しました。

ガラスビーズ事業では、道路用途は道路工事件数が低位な状態が続いたほか、海外安価製品との価格競争が継続したものの、底堅く推移しました。工業用途はシェア拡大や価格改定の効果がありましたが、前期にみられた需要増が一巡し、販売は前年同期を下回りました。また、反射材用途は、海外向けは低調に推移しましたが、国内向けは伸長しました。

モノフィラメント事業では、水産用途及びスポーツ用途を中心とした堅調な需要に加え、価格改定による不採算取引の見直しの効果もあり、収益が好調に推移しました。また、ナイロン中空糸膜についても、半導体分野での販

売が伸長しました。
以上の結果、機能資材事業セグメントは減収増益となり、売上高は9,658百万円（前年同期比49.3％減）、営業利益は1,932百万円（前年同期比126.0％増）となりました。

【その他】
その他の事業につきましては、売上高は3,676百万円（前年同期は14,736百万円の売上高）、営業損失は196百万円（前年同期は187百万円の損失）となりました。
なお、セグメント変更により前年同期の数値には前期に撤退した衣料繊維事業の数値を含んでおります。

（２）財政状態に関する説明
総資産は、前連結会計年度末に比べ7,607百万円減少し、143,096百万円となりました。これは、主として現金及び預金が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ15,245百万円減少し、81,413百万円となりました。これは、主として借入金が減少したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ7,637百万円増加し、61,682百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）
当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払がありましたが、税金等調整前中間純利益に減価償却費などを加えたキャッシュ・イン・フローなどにより、3,842百万円の資金の増加（前年同期は5,562百万円の資金の増加）となりました。
（投資活動によるキャッシュ・フロー）
当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う支出などにより、1,279百万円の資金の減少（前年同期は971百万円の資金の増加）となりました。
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより、11,783百万円の資金の減少（前年同期は19,709百万円の資金の増加）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①2027年３月期通期連結業績予想値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（A）<br>（2026年５月14日発表） | 百万円<br>84,000 | 百万円<br>8,000 | 百万円<br>6,500 | 百万円<br>5,000 | 円　銭<br>80.35 |
| 今回修正予想（B） | 94,000 | 13,000 | 12,000 | 11,000 | 184.42 |
| 増減額（B－A） | 10,000 | 5,000 | 5,500 | 6,000 | |
| 増減率（%） | 11.9 | 62.5 | 84.6 | 120.0 | |
| （ご参考）前期連結実績<br>（2026年３月期） | 118,563 | 10,549 | 10,392 | 18,153 | 310.33 |

②修正の理由

通期連結業績予想につきましては、事業再生計画に基づく成長市場向け高付加価値・高機能製品の拡販、価格改定や経費削減等のコストダウン施策の推進、不採算販売の見直しなどにより収益力が向上したことに加え、高分子事業セグメント及び機能資材事業セグメントにおいて電子材料分野の旺盛な需要が継続していることから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回予想を上回る見込みです。

＜業績等の予想及び計画に関する注意事項＞

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 47,700 | 38,811 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 15,949 | 15,066 |
| 棚卸資産 | 20,204 | 22,810 |
| その他 | 3,151 | 3,148 |
| 貸倒引当金 | △18 | △12 |
| 流動資産合計 | 86,987 | 79,825 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 35,733 | 35,812 |
| その他（純額） | 23,007 | 23,041 |
| 有形固定資産合計 | 58,741 | 58,853 |
| 無形固定資産 | 804 | 652 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 4,226 | 3,820 |
| 貸倒引当金 | △55 | △54 |
| 投資その他の資産合計 | 4,170 | 3,765 |
| 固定資産合計 | 63,717 | 63,271 |
| 資産合計 | 150,704 | 143,096 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,279 | 10,014 |
| 短期借入金 | 12,966 | 9,852 |
| １年内返済予定の長期借入金 | 28,593 | 23,129 |
| 未払法人税等 | 4,521 | 689 |
| 賞与引当金 | 1,261 | 1,060 |
| 製品改修引当金 | 28 | 28 |
| 事業構造改善引当金 | 399 | 223 |
| その他 | 6,566 | 7,043 |
| 流動負債合計 | 63,616 | 52,043 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 13,133 | 10,441 |
| 事業構造改善引当金 | 472 | 472 |
| 退職給付に係る負債 | 7,407 | 7,138 |
| その他 | 12,028 | 11,318 |
| 固定負債合計 | 33,042 | 29,370 |
| 負債合計 | 96,659 | 81,413 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100 | 100 |
| 資本剰余金 | 31,848 | 31,848 |
| 利益剰余金 | 19,592 | 26,787 |
| 自己株式 | △58 | △58 |
| 株主資本合計 | 51,482 | 58,677 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,326 | 1,341 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 0 |
| 土地再評価差額金 | 2,293 | 2,293 |
| 為替換算調整勘定 | △3,589 | △3,261 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2,271 | 2,347 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,302 | 2,722 |
| 非支配株主持分 | 259 | 283 |
| 純資産合計 | 54,044 | 61,682 |
| 負債純資産合計 | 150,704 | 143,096 |

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 62,147 | 48,905 |
| 売上原価 | 46,864 | 33,952 |
| 売上総利益 | 15,282 | 14,952 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,638 | 7,065 |
| 営業利益 | 5,644 | 7,887 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 41 | 112 |
| 受取配当金 | 94 | 384 |
| 持分法による投資利益 | 5 | 3 |
| その他 | 396 | 209 |
| 営業外収益合計 | 537 | 710 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 867 | 622 |
| その他 | 486 | 353 |
| 営業外費用合計 | 1,353 | 975 |
| 経常利益 | 4,828 | 7,622 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | － | 97 |
| 関係会社株式売却益 | 97 | － |
| 受取保険金 | － | 1,250 |
| 為替換算調整勘定取崩益 | － | 78 |
| 特別利益合計 | 97 | 1,425 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 161 | 122 |
| 事業構造改善費用 | 7,825 | 1,444 |
| 特別損失合計 | 7,987 | 1,566 |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△） | △3,061 | 7,481 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 363 | 430 |
| 法人税等調整額 | 34 | △431 |
| 法人税等合計 | 398 | △1 |
| 中間純利益又は中間純損失（△） | △3,459 | 7,482 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 28 | 25 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△） | △3,487 | 7,457 |

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益又は中間純損失（△） | △3,459 | 7,482 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 86 | 15 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △690 | 326 |
| 退職給付に係る調整額 | △55 | 75 |
| その他の包括利益合計 | △655 | 418 |
| 中間包括利益 | △4,114 | 7,900 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | △4,139 | 7,877 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | 24 | 23 |

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△） | △3,061 | 7,481 |
| 減価償却費 | 1,650 | 1,585 |
| 事業構造改善費用 | 10 | 1,444 |
| 受取保険金 | － | △1,250 |
| 受取配当金 | △94 | △384 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 9 | △7 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | △956 | △206 |
| 製品改修引当金の増減額（△は減少） | △0 | △0 |
| 事業構造改善引当金の増減額（△は減少） | 7,344 | △175 |
| その他の引当金の増減額（△は減少） | △212 | △201 |
| 支払利息 | 867 | 622 |
| 固定資産処分損益（△は益） | 161 | 122 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 1,124 | 929 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | 360 | △2,489 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △1,310 | 570 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 42 | △983 |
| その他 | 166 | △247 |
| 小計 | 6,102 | 6,810 |
| 利息及び配当金の受取額 | 136 | 497 |
| 利息の支払額 | △774 | △575 |
| 法人税等の支払額 | 97 | △4,140 |
| 保険金の受取額 | － | 1,250 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,562 | 3,842 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額（△は増加） | △88 | 97 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6 | △2 |
| 投資有価証券の売却による収入 | － | 181 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,135 | △1,878 |
| 有形固定資産の売却による収入 | － | 59 |
| 有形固定資産の売却に係る手付金収入 | 2,272 | 314 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △66 | △37 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | 108 | － |
| その他 | △112 | △13 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 971 | △1,279 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △0 | △3,114 |
| 長期借入れによる収入 | 1,196 | － |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,205 | △8,155 |
| 配当金の支払額 | － | △262 |
| 株式の発行による収入 | 19,930 | － |
| その他 | △211 | △251 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 19,709 | △11,783 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △263 | 427 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 25,980 | △8,793 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,120 | 47,314 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 39,100 | 38,521 |

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注１） | 合計 | 調整額（注２） | 中間連結損益計算書計上額（注３） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 高分子事業 | 機能資材事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 28,367 | 19,044 | 47,411 | 14,736 | 62,147 | － | 62,147 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,926 | 951 | 3,877 | 51 | 3,929 | △3,929 | － |
| 計 | 31,293 | 19,995 | 51,289 | 14,788 | 66,077 | △3,929 | 62,147 |
| セグメント利益又は損失（△） | 4,996 | 855 | 5,851 | △187 | 5,663 | △19 | 5,644 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他（注１） | 合計 | 調整額（注２） | 中間連結損益計算書計上額（注３） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 高分子事業 | 機能資材事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 35,569 | 9,658 | 45,228 | 3,676 | 48,905 | － | 48,905 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 236 | 218 | 455 | 11 | 467 | △467 | － |
| 計 | 35,806 | 9,877 | 45,684 | 3,688 | 49,372 | △467 | 48,905 |
| セグメント利益又は損失（△） | 6,105 | 1,932 | 8,038 | △196 | 7,842 | 45 | 7,887 |

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、事業再生計画に基づいた事業譲渡等を含む不採算事業からの撤退が概ね完了したため、当中間連結会計期間より、報告セグメントを従来の「高分子事業」、「機能資材事業」及び「繊維事業」の３区分から、「高分子事業」及び「機能資材事業」の２区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

３．補足資料

①業績及び2027年３月期業績予想（連結）

（百万円）

| | | | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 連　結 | 2025／３ | 年　間 | 126,411 | 5,851 | 4,693 | △ 24,283 |
| | 2026／３ | 中　間 | 62,147 | 5,644 | 4,828 | △ 3,487 |
| | | 年　間 | 118,563 | 10,549 | 10,392 | 18,153 |
| | 2027／３ | 中　間 | 48,905 | 7,887 | 7,622 | 7,457 |
| | | 年間(予想) | 94,000 | 13,000 | 12,000 | 11,000 |
| | 前年比較 | 中　間 | △ 13,242 | 2,242 | 2,793 | 10,944 |
| | | 年　間 | △ 24,563 | 2,450 | 1,607 | △ 7,153 |

②セグメント情報（連結）

（百万円）

| | | | 高分子 | 機能資材 | その他 | 調整額 | 連　結 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前年実績 | 2025／９（実績） | 外部売上高 | 28,367 | 19,044 | 14,736 | － | 62,147 |
| | | 構成比(%) | 45.6 | 30.6 | 23.7 | － | 100.0 |
| | | 営業利益 | 4,996 | 855 | △ 187 | △ 19 | 5,644 |
| | | 構成比(%) | 88.5 | 15.2 | △ 3.3 | △ 0.3 | 100.0 |
| 当期実績 | 2026／９（実績） | 外部売上高 | 35,569 | 9,658 | 3,676 | － | 48,905 |
| | | 構成比(%) | 72.7 | 19.8 | 7.5 | － | 100.0 |
| | | 営業利益 | 6,105 | 1,932 | △ 196 | 45 | 7,887 |
| | | 構成比(%) | 77.4 | 24.5 | △ 2.5 | 0.6 | 100.0 |
| 前年同期比較 | | 外部売上高 | 7,202 | △ 9,385 | △ 11,059 | － | △ 13,242 |
| | | 増減率(%) | 25.4 | △ 49.3 | △ 75.1 | － | △ 21.3 |
| | | 営業利益 | 1,109 | 1,077 | △ 8 | 64 | 2,242 |
| | | 増減率(%) | 22.2 | 126.0 | － | － | 39.7 |

③設備投資実施額・減価償却費（有形固定資産）・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数（連結）

（百万円、人）

| | | 設備投資実施額 | 減価償却費 | 研究開発費 | 有利子負債(期末) | 金融収支 | 正従業員数（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2025／３ | 年　間 | 2,725 | 4,582 | 3,220 | 92,143 | △ 1,231 | 2,663 |
| 2025／９ | 中　間 | 1,332 | 1,427 | 1,618 | 92,132 | △ 731 | 2,463 |
| 2026／３ | 年　間 | 4,238 | 2,953 | 3,240 | 54,694 | △ 1,325 | 1,692 |
| 2026／９ | 中　間 | 1,894 | 1,416 | 1,436 | 43,423 | △ 125 | 1,628 |

④キャッシュ・フロー（連結）

（百万円）

| | | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物の期末残高 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2025／３ | 年　間 | 6,293 | △ 3,146 | △ 435 | 13,120 |
| 2025／９ | 中　間 | 5,562 | 971 | 19,709 | 39,100 |
| 2026／３ | 年　間 | 5,614 | 34,312 | △ 6,119 | 47,314 |
| 2026／９ | 中　間 | 3,842 | △ 1,279 | △ 11,783 | 38,521 |